

発言No.

13

受付No.

15

令和 3年 6月 10日

10時 17分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 17番

氏名 佐々木 豊治

答弁を求める者

市長

教育長

監査委員

選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長

固定資産評価審査委員会委員長

公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1、 第四中学校の統合計画案について

- ① 第四中学校の統合計画案について、令和4年度と5年度に四中に入学する生徒が、令和6年度には、中学生生活の途中から三中に転校しなくてはならないが、特に3年生から転校になると、部活の市総体を間近に控え、また受験も控えている。3年生になったとたん、学校環境が一変することに対し、保護者からは多くの心配の声がある。教育委員会としてはこの問題をどのようにとらえているのか伺う。
- ② 令和4年度と令和5年度に四中に入学する生徒については、四中に入学し、統合時に三中に転校するパターンと、最初から三中に入学できるパターンと、どちらか選択できるようにしてほしいとの声もあるがいかがか。
- ③ 令和4年度、5年度に四中に入学する生徒が、計画通り令和6年度、三中に統合する場合、制服や体操服など必要な備品については無償で対応してもらえることになるのか伺う。

- ④ 令和6年度の統合先を三中ではなく二中を希望する声もあるが、検討課題になるのか伺う。
- ⑤ 浜田市での中学校の統合の際の保護者や学生支援について、過去にはどのような支援が行われてきたのか伺う。

2、市民生活を支える取組について

(1) まちづくりセンターの取組について

- ① まちづくりセンターについて、これまでの公民館とは違い、まちづくりセンターはどのような機能を果たしていくのか、住民にどのようなサービスを提供してもらえるのか教えてもらいたい。また、基本的に提供できる内容は同じでないといけないのではないかと、などの声を市民から聞く。まちづくりセンターの設立によって何が変わってくるのか、改めて伺う。
- ② この取組の成果を大きく左右するのが新たに配置されたコーディネーターさんの手腕ではないかと思う。当初は、市で5人を配置とされていたが、計7人の配置となった。そうなった理由とコーディネーターさんの選出基準、そして何をどのようにお願いし働いてもらうのか伺う。

(2) 自治会とまちづくり委員会組織の一本化について

- ① 金城の久佐地区では、まちづくり委員会のなかに自治会を導入し一本化されているということを知った。たてわけがわかりにくかったが二つの組織で同じようなことをやることもなくなりすっきりしてきたとのこともあり、全市への広がりも今後考えていく必要があるのではと思うが所見を伺う。

(3) 中山間地域の生活支援について

中山間地域振興特別委員会では、様々な視点から提言が行われており、今後の執行部への施策構築に向けた大きな検討材料や、視点になっていくものと思う。

- ① 高齢化が進み、中山間地域では買い物や通院などの移動手段の確保がとても必要性を増している。小国地域では自治会組織で買い物タクシーを始めておられ、先進的な取組とも思うが、その取組内容について伺う。
- ② 高齢者は買い物に出ても荷物になるため、移動販売事業の導入も、なくてはならない事業になっていると思うが導入の考えを伺う。
- ③ 草刈り支援について、これまでも何度も取り上げてきたが、業者さんへの支援を通し、希望される家庭への草刈り支援に取組むべきと思うが所見を伺う。
- ④ また、自治区制度がなくなったり、自治区長の権限がなくなったりで、旧町村の声がますます本庁に届かなくなったのではとの心配の声がある。対応を伺う。

発言No.

14

受付No.

20

令和 3 年 6 月 10 日
10 時 42 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 6 番

氏名 柳楽 真智子

答弁を求める者

(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 防災・減災対策について

(1) 避難所について

- ① 福祉避難所については、老人福祉施設や障がい者支援施設などが適していると考えますが、浜田市の福祉避難所の中で該当するのは、8か所中4か所だと思えます。施設側が運営に支障が出ることを懸念され、指定を望まれない状況もあるようですが、浜田市での今後の進め方について伺います。
- ② 政府は大規模災害時に配慮が必要な人が過ごす「福祉避難所」に、一般住民が殺到しないようにするためあらかじめ対象者を自治体が決め、事前に住民に知らせる制度を新たに設け、運営に関するガイドラインを改正して市区町村に周知したとのことですが、浜田市の状況について伺います。
- ③ 5地域の一時避難所の中で、金城地域は他地域と比べてとても少ない理由について伺います。

(2) 災害備蓄品について

- ① 以前の質問で液体ミルクの備蓄について取り上げ、検討するとのことでしたがその後の状況を伺います。
- ② 災害備蓄品の使用期限がくるものについては、有効利用されていると思えます。最近、生理の貧困ということが国内のみならず海外でも取り上げられています。生理用品を買えない女性への支援として無償配布を始めた自治体もありますが、備蓄品の活用もひとつの手段だと考えます。今後このような対応は考えられないか伺います。

(3) 個別計画について

- ① 改正災害対策基本法が成立し、災害弱者ごとの個別避難計画の作成が市町村の努力義務となりました。対象者全員の計画を作成済みの市町村は全国で1割程度となっており、計画作成を促すのが狙いで、作成経費を支援する地方交付税措置もされました。浜田市の現在の作成状況を伺います。

(4) 防災士について

- ① 浜田市の防災士の数と、資格取得後の活動について伺います。
- ② 令和3年度島根県防災士養成研修が9月に浜田市で行われます。地域防災の担い手として必要な人材だと考えますが、これまで消防団員の中から推薦されていたように記憶しています。対象を希望する市民に拡充することは考えられないか伺います。

(5) 防災教育について

- ① 自然災害が各地で頻発する中であって、防災教育が重要となっています。新学習指導要領でも、災害の教訓を踏まえた防災教育に関する内容が重視されたと伺っています。具体的にはどのような学習が行われているのか伺います。

2. 労働者協同組合について

(1) 地域での活用について

- ① 代表質問でも取り上げさせていただきましたが、昨年12月に「労働者協同組合法」が成立し、先日は松江市で学習会が行われたようです。NPO法人は行政の認証が必要ですが、この組合は届け出だけで発足できるというメリットがありますが、このほかにどのようなメリット、デメリットがあるのか伺います。
- ② 今後、協働のまちづくりを進める中で、市民の皆さんの選択肢のひとつとして情報提供を行っていただきたいと思いますが、ご所見を伺います。

発言No.

15

受付No.

#18

令和3年6月10日

10時32分 受付

一般質問発言通告書

議席番号18番

氏名 道下文男

答弁を求める者

市長

教育長

監査委員

選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長

固定資産評価審査委員会委員長

公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 コロナ終息に向け、仕切り直しをしての“魅力のある浜田市づくり”について

(1) 「はまだお魚市場」のグランドオープンについて

- ① 浜田市の金看板となる施設と考えるが、市の見解を問う。
- ② 浜田市全体での「協働」という形での「はまだお魚市場」の活性化を考えるが、市の見解を問う。

(2) 安心して暮らせるまちづくりについて

- ① 児童生徒の安全・安心へ通学路の整備が進められている。現時点での現状認識を問う。
- ② 耕作放棄地が拡大し、市民の安全・安心が脅かされている。対策への考えを問う。
- ③ 高齢者の交通弱者が右肩上がり増加している。市の所見を問う。
- ④ 異常気象での大規模災害を懸念し対策強化を求めるが、市の考えを問う。
- ⑤ まちづくりセンター(旧の公民館)を核とした地域のまちづくりが進められようとしている。現時点での所見を問う。

(3) 若者が住みたいと願うまちづくりについて

- ① 若者の働く場の確保が最重要課題と考えるが、市の所見を問う。
- ② 市全体で“浜田の若者を育てる”という気概を醸成すべきと考えるが、市の所見を問う。

発言No.

16

受付No.

12

令和3年6月10日

9時37分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 14 番

氏名 岡本 正友

答弁を求める者

(口をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員長

発言項目及び要旨

1. 人がつながる協働のまちづくりについて

(1) まちづくりの視点から見た公共及び民間施設の活用・複合化について

① 本年10月の市長の改選時期にあたり、市長の次期の市政運営について問う。

平成27年に策定した「浜田市総合振興計画」は、平成28年度から令和7年度の10年間であり、期間は市長の任期に合わせ4年としている。任期の区切りにあたり、まちづくりの展開や人口減少・少子化の対応の戦略等の立案は、地方の生き残りをかけた地方創生に資する重要な施策であると考え、第2次浜田市総合振興計画の後期基本計画策定に向けての決意を問う。

② 人がつながるまちづくりの環境整備について問う。

「浜田市協働のまちづくり推進条例」が、本年4月から施行され、各地区の地域協議会が開催され、まちづくりを進めている。まちづくりが特に遅れているとされている浜田地区南の中心市街地の自治会では、活動を推進させるためには自治住民が気軽に集まることができる集会所を必要とする意見や、災害時の安全な避難施設を切望する意見もある。協働の第一歩は集うことであると思うが、浜田地区南は他に比較しても、集う場所が非常に少ないと感じている。官民の施設を活用する集会所の現状と災害時避難施設の実態について認識を問う。

(2) 雲雀丘小学校の統合再編と新たなまちづくりについて

① 浜田市立小中学校統合再編にあたっての具体的方策を問う。

小学校4校と中学校2校の具体的な学校統合再編の方針が示された。具体的な方策とはどのようなものか。なぜ中心市街地に近い雲雀丘小学校が統合再編しなければならないのか問う。

② 既存の校舎を活用する新たなまちづくりセンターについて問う。

対象地は、以前から学校を核とした地域ぐるみの活動が行われている。

求心的な学校がなくなることによって、地域とのつながりが閉ざされる状況は、この地域全体の自治や地域活動の衰退につながると考える。先般の説明会における意見交換会では、既存の校舎を活用した災害時の避難施設の配置や自主防災を主体とした新たなまちづくりセンターの移転新築について、地域住民から強い要望があった。今後の対応策について尋ねる。

(3) 浜田市体育協会の体制について

① 浜田市スポーツ協会への体制改革について問う。

県内 8 市のうち浜田市だけが、行政直営方式であるが、名称変更と合わせ、運営方式や職員体制について、他市における体育協会の体制を問う。

② 浜田市体育協会を外部団体へ移管させることで生まれるメリットについて問う。

発言No.

17

令和
平成

受付No.

21

3年6月10日
10時52分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 3 番

氏名 西川 真午

答弁を求める者

(○をつける)

市長

教育長

監査委員

選挙管理委員会委員長

農業委員会会長

固定資産評価審査委員会委員長

公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. マイナンバーカードを活用した行政のデジタル化の推進について

(1) 浜田市におけるマイナンバーカードの普及状況について

① 普及拡大の取組について問う。

② 現在の普及状況について問う。

(2) 今後の行政のデジタル化の推進について

① 行政のデジタル化の今後の内容及び推進スケジュールについて問う。

② IT人材の育成、確保についての考え方について問う。

2. 浜田市の文化行政と芸術文化の振興について

(1) 浜田市の文化行政の基本的な方針と現状について

① 文化行政の基本方針と現状について問う。

(2) 芸術文化の振興について

① 浜田市の芸術文化振興の推進体制について現状と課題を問う。

② 今後の浜田市の芸術文化の振興の方針について問う。

発言No.

18

受付No.

2

令和 3 年 6 月 2 日
15 時 10 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 5 番

氏名 川上 幾雄

答弁を求める者

(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 指定管理者による管理運営について

(1) 事業報告書について

施設の管理状況や利用の状況等、指定管理者による管理運営の状況を把握し、市が必要な措置を取るために必要なものとされている

- ① 事業報告書の内容と提出期限について伺う。
- ② 提出内容はどのようにして確認するのか伺う。

2 上水道の管理について

(1) 水道管の老朽化と更新について

上水道施設はアセットマネジメントにより管理されている

- ① 老朽化と更新時期の関係を伺う。
- ② 更新時期と給水人口の関係を伺う。

3 浜田市管理道路の管理について

(1) 道路防災について

市が管理する道路には、災害防除を必要とする個所が多数ある

- ① 市内における災害防除を必要とする個所数を伺う。
- ② 災害防除工事時期と危険性の関係を伺う。
- ③ 災害が起きた時の処置計画を伺う。

